

笠木かおるの選挙公約

『しあわせ度ナンバーワンのまち旭川』

地域づくり

地域の魅力を存分に生かし、旭川ならではの地域づくりを進めます

1. ユネスコ創造都市ネットワークのデザイン分野で認定を受けた「デザイン創造都市」として、幅広く豊かなデザイン力をまちづくりに取り入れ、オンリーワンのまちづくりを進めます。
2. 全国から若者が集う魅力ある公立旭川大学の開校と地域性を活かした新学部の創設を行います。
3. 優佳良織工芸館3館を活用し、広域観光や文化の発信拠点としての再生に取り組みます。
4. 医療・福祉・行政が恒常的に連携する機関をつくり、「医療・福祉のまち旭川」として体制強化を図ります。
5. 最先端の技術を取り入れた北国（寒冷地）のモデル都市として、国のスーパーシティ型国家戦略特区の申請を検討します。
6. 通院や通学、観光、貨物など貴重な足であり、流通手段であるJR各路線の維持存続に向け、JR旭川駅や石北・宗谷・富良野線の新価値発信と北海道新幹線の旭川延伸に向けた活動を展開します。
7. 農村部に若者が移住し、暮らしやすい新たな制度づくりを進め、一層の活性化を図ります。
8. 全国初の歩行者天国「買物公園」の50周年を迎え、新たな半世紀への第一歩として、更なる魅力づくりと活性化に取り組みます。
9. 東海大学跡地の利活用に関する市場調査の結果を踏まえ、ニーズに即した環境整備に取り組み、早期の利活用を進めます。
10. 道北最大の歓楽街「サンロク」に新たな名所を市民提案でつくり上げ、更なる賑わいを創出します。
11. ふるさと納税などを活用し、旭山公園夜桜まつりなど地域の取り組みを後押しし、地域の賑わいをつくります。

産業 観光

世界の観光需要を取込み、産業振興による強靱な地域経済をつくります

1. 旭川空港国際線ターミナルを集客施設として更なる魅力を高め、国内外からの路線拡大と交通ネットワークや道路網を再構築します。食やアクティビティ、おもてなしに至るまで外国人観光客を受け入れ可能な個性的なまちをつくり、「国際観光都市」として世界に発信します。
2. 北海道エアポート（HAP）と連携し、LCC（格安航空会社）の国際拠点空港とするなど旭川空港の国際化を図ります。
3. 東京サテライトオフィスを効果的に活用し、地震災害の少ない地域特性（リスク分散）を全国にPRし、企業誘致やワーケーションを促進します。
4. 農業・林業従事者やトラックやバスの運転手、重機オペレーターなど専門的技術を要する人材の確保や養成などの支援を行い、基幹産業である農業やモノづくり産業への積極的支援を進めます。
5. 地域の誇る地場産品や農畜産物への付加価値を高め、旭川ブランドの新たな逸品・産品づくりに取り組み、国内外にPRするなど販路拡大を図ります。
6. 力強い農業を創るため、AIやドローンなどの先進技術を導入し、競争力の強化を図ります。
7. 森林環境譲与税を有効活用した林業の新たな振興策をつくります。

希望のまち

夢が叶う、若者が魅力を感じる、希望のまちをつくります

- 1 外国樹種見本林・三浦文学館から三浦文学の道、氷点通り、北彩都、緑橋ナナカマド通りと平和通り買物公園、7条緑道、常磐公園、旭橋まで5kmに及ぶ「自然豊かなベルト地帯」を回廊として、デザイン創造都市にふさわしいデザイン力をふんだんに取り入れ、彫刻やアート、旭川家具などを設置、緑や花、音楽、地場産の多彩な食文化や食べマルシェ、北の夏祭りなどのイベントを散歩しながら満喫できる、旭川ならではの魅力を最大限生かした「緑と花の回廊・さんぽ道」をつくり全国・世界に発信します。
- 2 子供たちの夢の実現と大切な命を守るため、「いじめ見逃しゼロ運動」の視点を盛り込んだいじめ防止条例の早期制定にむけ、全力を尽くします。
- 3 エプソン・チームラボボーダレスの「光のアートミュージアム」を誘致し、子どもたちが光から新たな発見をし、創造力やデザイン力を高めることで大きな成長を促します。
- 4 子どもたちのために公約を白紙にしておきます。「白紙の公約」として、子どもたち自らが、まちづくりに参加し、感性豊かなアイデアや夢を実現させます。
- 5 ユネスコ創造都市ネットワーク認定のデザイン都市が集う「世界デザイン会議」を旭川で開催します。
- 6 地域産業の事業拡大や新分野への進出への支援、新たな事業を生み出す起業誘致を進め、若者の働く場を創出します。
- 7 音楽のまち旭川を代表するイベントとして国内最大級のマーチングのフェスティバル「音楽大行進」を充実させ、国内外に発信します。

いきいき生活

高齢者も障がいをお持ちの方も安心して健康に過ごせる暮らしをつくります

1. 新型コロナ対策のために、検査体制を抜本的に強化します。64才以下の希望者へのスムーズなワクチン接種体制の整備維持と感染の急拡大を予測した医療体制の構築を図ります。
2. デルタ株などに対する市民の危機意識の共有を図るため、市長からの情報発信など連絡体制の構築を行います。また、市民の暮らしや営業を守るため「自粛と補償はセット」で支援策を進めます。
3. アフターコロナを見据えた対策を進めるため、庁内にプロジェクトチームを立ち上げます。
4. 地域の小学校を利用するなど、地域ごとに高齢者サロンを開設し、高齢者が集い、交流する場をつくります。
5. ジェンダー平等、格差是正などを国に訴えながら、地域独自のパートナーシップ制度導入に向け検討を進めます。
6. パークゴルフによる地域交流やパークゴルフ場のシルバー料金制度を導入するなど、パークゴルフを通じて地域力の向上や高齢者の健康づくりを進めます。
7. 犬や猫などペットに優しい「人と動物が共生する心豊かな旭川」を築きます。そのため、動物愛護憲章を制定し、環境の整備や啓発活動、ボランティア組織との連携を強めます。
8. 国道・道道と連携した除排雪体制を構築し、作業の効率化と除雪費用の確保を図ります。
9. 市立旭川病院が市民の命を守り、地域に貢献する病院として入院病床を確保するとともに、持続可能な経営と診療科目の充実を図ります。
10. 平和都市として憲法を活かした平和なまちづくりを進めます。

教育 子ども

子育て世代をしっかりと支え、子どもたちの成長を守ります

1. 子どもたちのための市立児童相談所設置します。
2. 学校施設のバリアフリー化を図り、小中学校全校を対象にトイレをより使いやすくするため、便器の洋式化を進め、女子トイレへ生理用品を常備します。
3. 小中一貫校を導入するほか、夜間中学などを検討し、すべての子どもが共に学ぶことができる場を拡充します。
4. 中学3年生までの少人数学級を実現し、よりきめ細やかな指導を図り、スクールカウンセラーの配置の拡充により、子どもの小さな変化にも気づくことができる教育環境づくりを進めます。
5. 子ども医療費助成の拡大や給付型奨学金を、新たに専門学校を対象とするなど子育て世帯の経済的な負担を軽減します。
6. 保育所や放課後児童クラブの待機児童のゼロを維持継続しながら、保育サービスの更なる向上を図ります。
7. 第二のもりもりパーク、わくわくエッグなど子どもたちが集える拠点整備、子ども食堂や学習スペースの確保など子どもの居場所づくりを支援します。
8. 放課後児童クラブ全てにエアコンを設置するなど、子どもたちが安心して通える学童保育の環境整備を進めます。

環境

環境に配慮した地球にやさしい暮らしを創造します

1. 国連加盟国における2030年までの持続可能な開発目標「SDGs」の認知度を高めるため、地球温暖化防止など、各分野への取り組みを進めます。
2. 脱炭素など環境に配慮した社会の実現に向け、ごみの資源化・エネルギー化に更に取り組み、後世に多大な負担を残さない次期処分場の移転や仕様についての検討を進めます。
3. 街路灯LED化や電気自動車の普及拡大のほか、自転車や公共交通機関の利用促進などCO₂の排出削減への堅実な選択を進めます。
4. リサイクル率の向上と市民一人あたりのゴミ排出量の軽減を目指します。
5. 太陽光や風水力、ヒートポンプなど自然エネルギーを有効活用し、CO₂の排出削減への取り組みを、広く地域に普及させ、また災害時の貴重なエネルギーとしても活用します。

文化 スポーツ

文化とスポーツ振興をはかり日々の活力と潤いづくりを進めます

- 1 芝生のサッカー場を増やすなど、サッカーの競技環境を充実させます。
- 2 大雪山カムイミントラジオパーク構想を進め、神居古潭を中心に旭川圏におけるジオパークの普及促進とジオサイトの調査を進め、学びのフィールドを形成します。
- 3 市民の皆さんが日々の文化・芸術活動で創作した作品の数々を発表する「市民ギャラリー」を新設し、創作活動への意欲向上と広く市民の皆さんが文化芸術に触れる機会を提供します。
- 4 文化拠点のネットワークづくりを進め、施設間で連携することで、新たな価値を生み出し、地域の魅力として発信していきます。
- 5 上川アイヌの人々が培ってきた歴史や文化を次世代に継承するよう支援します。
また、優佳良織や旭川家具、歴史的建造物など伝統ある文化や技術の保存伝承への支援とともに新に生み出される地域文化の充実発展・発信を支援します。
- 6 東光スポーツ公園への体育施設新設を検討するとともに、スポーツ合宿や全国規模の大会誘致を行います。
- 7 スキーやスノーボードなど北国ならではの競技を中心に、全国レベルの選手を育成するための支援を行い、本格的に競技に打ち込める環境づくりを進めます。
- 8 コクゲキ（旧国劇ビル）を拠点にeスポーツの北の聖地として大会の誘致・開催のほか、eスポーツの周知活動やプログラミング教育を幅広く展開します。
- 9 市民のスポーツや文化芸術への取組を支援し、閉校となった学校や市有施設を活用した活動の場を確保します。
- 10 国内はもとより、国際的にも有名なアーティストや演劇や楽団など、より質の高いコンサートや催しが開催できるよう旭川市民文化会館のあり方について検討します。
- 11 旭川サイクリングロード（通称：神居古潭サイクリングロード）の通行止め区間を改修するなど、景勝地・神居古潭までを巡るサイクリングコースの再生に向けて検討します。

改革

市役所の大規模な行財政改革を行います

1. 女性活躍社会の推進を図り、旭川市初となる女性副市長を実現し、女性の視点でまちづくりを広げます。
2. 市民の皆さんから愛される機能的で利用しやすい新市役所をつくります。
3. 女性管理職者を積極的に登用するとともに、男女とも仕事と家庭や子育てが両立できる執務環境をつくります。
4. 市長に寄せられた市民の声を速やかに実行に移せる市長直轄の組織を創設するなど機構改革に取り組み、市民に分かりやすく、やさしい市役所づくりを進めます。
5. 市役所のICT化を加速させるためデジタル課の創設や部局の再編を進め、業務の効率化、事業のスリム化などの行財政改革で機能的な市政運営を行います。

追加公約

- 1 アフターコロナ対策第1弾として、65才以上の高齢者を対象に、市内のバス路線すべてを無料化します。（寿バス仕様とします。）
- 2 学校給食の無償化を中学校高学年から段階的に始めます。
- 3 道路側溝整備事業を促進するため、令和2年度補正予算の3倍増の6億円を投入し実施します。
- 4 30cm圧雪の高さを削るなどのザクザク路面对策モデル事業を実施し、その効果や課題に更に検討を加え、本格的実施に向けて着実な除排雪対策を進めます。
- 5 屯田会などが取組んでいる旭川開拓の礎屯田の歴史を、後世に伝える事業を支援します。
- 6 21世紀の森に、子供たちのあこがれでもあるトレーラーハウスを設置するなど「キャンピングカーほっとステーション」の充実を図ります。
- 7 ふるさと納税の収入拡大をめざし、地場産品の開発など特徴ある返礼 品づくりのための新たな開発体制を構築します。
- 8 64才以下へのワクチン接種の一層の促進をはかるため、企業など職場に対しワクチン休暇2日間を付与していただくよう要請します。
- 9 ワクチン接種時、すべての接種者に対し消炎鎮痛剤を無料配付します。
- 10 旭川市発注工事の最低制限価格を引き上げ、企業の体力向上を図ります。
- 11 大雨など高まる災害リスクから高齢者、障がい者、子どもなど災害弱者の命を守るため、地域共助で重要な「自主防災組織」づくりの促進と活動への財政的支援制度をつくります。
- 12 高齢化に伴う町内会組織の消滅や活動の停滞などを打開するため、「持続可能な町内会活動」に向けて民間委員も加えた検討委員会を設け抜本的な見なおしを図ります。
- 13 都市型ヒグマの対策を国や道としっかり連携し河畔環境の整備を行うと共に、専門家の知識を活用できるよう専門家集団の組織をつくります。